

新型コロナウイルスQ&A

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 帰国者・接触者相談センターに相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえ、感染の疑いがある場合には、必要に応じて新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

Q4 医療機関を受診するときに気をつけることはありますか？

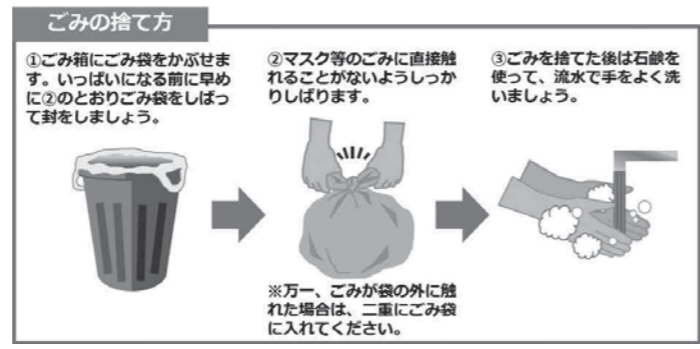
A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」から紹介された医療機関を受診してください。受診するときはマスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q6 使用済みマスクを捨てる時に気をつけることはありますか？

A 使用済みマスクやティッシュなどを捨てる際は、下図の『ごみの捨て方』に沿って、「ごみに直接接触しない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

『ごみの捨て方』に沿って捨てることで、自分自身や家族だけでなく、ごみを収集運搬・処理処分を行う人に対する感染症対策につながります。また、ごみを捨てる際は熊野町のルールに従うとともにポイ捨ては絶対にやめましょう。

※二重袋については、町として禁止していますが、環境センター・収集運搬業者と協議し、状況により回収をお願いしています。



Q2 感染したかも？と思ったらどうしたらいいですか？

A 次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談してください。

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
 - ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある
- ※重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある人、妊婦は上記の症状が2日程度続いたら相談してください。

☎帰国者・接触者相談センター
(広島県西部保健所広島支所)
☎513-2567 (24時間受付)

Q5 感染しても症状がでない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりとわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他の人へウイルスをうつす可能性も最も高くなるといわれています。

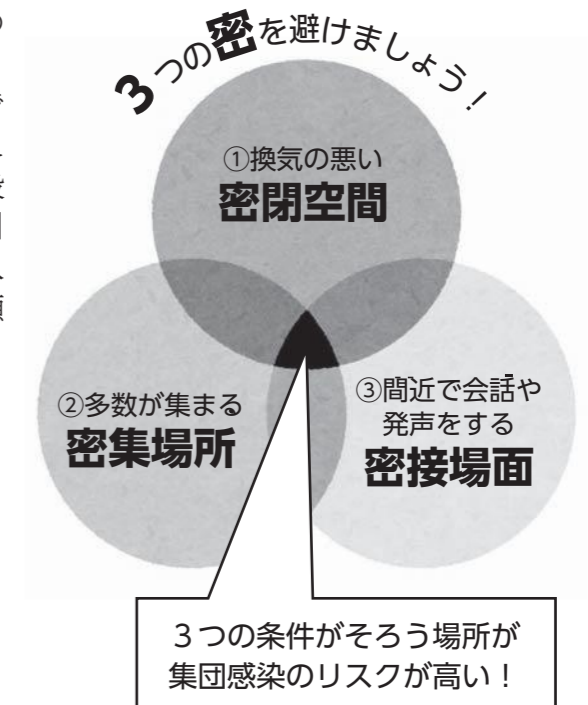
新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症は、ウイルス性の風邪の一種で、発熱やのどの痛み、長引く咳、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多いことが特徴です。世界中で多数の感染が確認されており、今後の感染拡大を抑えるためにも一人ひとりの感染症対策が必要です。一般的な感染症対策と同様に「手洗い」や「咳エチケット」の徹底、また、不要不急の外出を控え、できるだけ人混みの多いところを避けて行動するようご協力をお願いします。

感染経路は・・・

飛沫感染
感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒に放出されたウイルスを別の人が口や鼻から吸い込み感染

接触感染
ウイルスが付着したものに触れた手で、食事をしたり鼻や目などを触り粘膜から感染



一人ひとりが日常でできる感染症対策

こまめな手洗い

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめな手洗いを日常的に行いましょう。また、手洗いの前は爪を短く切り、時計や指輪は外しておきましょう。洗い終わったら清潔なタオルやペーパータオルで水分をよく拭き取って乾かしましょう。



咳エチケット

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。マスクを着用する際は、口と鼻をしっかりと覆います。マスクがないときは、ティッシュやハンカチ、とっさのときは袖や上着の内側で口と鼻を覆うようにし、咳エチケットを心がけましょう。



睡眠と食事

感染症にかかりにくい身体づくりのために、十分な睡眠とバランスのよい食事をとり、免疫力を高めることも大切です。

家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 ～家庭内で注意してほしい8つのポイント～

- 部屋を分けましょう…個室にし、感染者は極力部屋から出ないようにする
- 感染者の世話は限られた人でしましょう…基礎疾患や持病のある人や高齢者、妊婦が世話をするのは避ける
- マスクをつけましょう
- 手で触れる共有部分を消毒しましょう
- こまめに手を洗いましょう
- 定期的に換気をしましょう
- 汚れたりネン、衣服を洗濯しましょう
- ゴミは密閉して捨てましょう